

# 山なみはるか

天龍小学校

## 実りの秋がやってきました



10月の声とともに、急に寒さを感じられるようになりました。つい先週まで「いただきます」と同時に冷たい牛乳をおいしそうに飲んでいた子どもたちは、ここ数日、汁物のカップを湯たんぽがわりにして「あったまる〜」と大事そうに抱えています。校庭横にある学校菜園も、キュウリ、トマト、オクラ、ナス、カボチャ等に代わって、秋まきの大根とサツマイモがすくすくと育っています。庭を彩っていたひまわりやアサガオは種の収穫をして来年に備えています、種を

まいていないコスモスは今年も満開で、子どもたちの遊び道具となっています。

秋まただ中。体育館の建設工事も基礎を終了し、建物の形がだんだんと姿を現しました。子どもたちは、クレーン車や足場に興味津々で、現場の職人さんたちともコミュニケーションをとっています。自分の目の前で体育館ができあがっていく様を見ることが出来る貴重な年となっています。新しい体育館とともに、働いているみなさんや使われている道具、現場の雰囲気なども記憶に残してほしいです。安全面での目途が立ったら現場見学もさせていただけるそうです。今から楽しみです。

## 5年生が稲刈りをしました



子どもたちは毎朝交代で田んぼに水を入れ成長を見守ってきました。子どもたちの管理の間を縫って、稲の育ちや水の管理に気を配ってくださった宮澤敏仁さん夫妻、宮澤悟さん夫妻、遠山直代さん、村地域振興課の方々、ありが隊の方々が応援に来てくださいました。カマを使い、一束ずつ掴んで刈っていきます。教えていただいたとおりにやってみると、本当にきれいに、サクッサクッと気持ちよく刈ることができます。子どもたちも最初はゆっくり、おっかなびっくりでしたが、だんだんと進んでいくにつれてスピードが速く、そして上手に刈れるようになり、あっという間にはざ掛けまでを終了することができました。近所の専門家の方々に教えていただいて、またひとつ、天龍村の財産を分けさせていただくことができました。夏休み中は、保護者のみな様にも水の管理を手伝っていただきました。おかげさまで大豊作です。今回収穫したお米は、後日脱穀し、10月末に行われる「ふるさと大好き給食」の時に、五平餅を作る材料として使われます。



# 運動会、ありがとうございました



関係者全てのみな様の祈りが通じたのか、さわやかな秋晴れの中、第20回天龍村大運動会が3年ぶりに開催されました。前ページの写真のとおり、小学校は体育館建設中でグラウンドが使えないため、今年度は中学校グラウンドでの開催となりました。「3年ぶり」とは具体的に言うと、今小学校に在籍している18名の児童のうち、1年生から3年生の10名が小学生としては初めての村の運動会、ということになります。先生方も本校での村民運動会を経験している人はほんのごくわずかで、さまざまなことが手探りだったり、新しいことだったりの連続でした。当日は保育園、中学校、公民館の種目も行われましたが、ここでは小学校の部分のみを紹介します。

保小中、どんぐり向方学園の児童生徒が一堂に会しての開会式です。朝イチから紅白に分かれ、全員のやる気が気配からうかがえます。



←白組応援団

紅組応援団↓



←紅白応援団長

白：陽菜乃さん 紅：優心さん

ドラゴンダッシュ（短距離走）です。高学年のみなさんは、どんぐり向方学園のお友だちと一緒に走りました。また、ゴールでは、中学生がテープを持って待っていてくれました。





1, 2年生の表現運動「踊るんよさこい」  
全身を大きく使い、リズムに合わせて鳴子とかけ声でダンスを盛り上げました。



3 ~ 5年生の表現運動  
「友と夢を追いかけてよう」



リズムダンス、ボール、一輪車、フラフープと組み体操を使い、みんなの夢を体現しました。

...全校リレーを経て、今年度の運動会は紅組の勝利で幕を閉じました。走ったり踊ったり、手拍子で歌ったりかけ声をかけて合わせたり...、ひとりひとりが精一杯表現している姿を、久しぶりに直接村の方々に見ていただくことができました。この運動会が、秋のひとときに、ご家族で楽しんで、懐かしんで、少しでも元気になっていただく機会となったら幸いです。当日の開催に向け準備をしていただいた天龍村公民館、教育委員会の皆様、会場を整えてくださった中学校職員・生徒の皆様、当日準備に携わってくださった保護者の皆様、そしてそれぞれの競技に温かい声援を送ってくださった地域の皆様、各方面から支えていただきました。本当にありがとうございました。

# 「読書」の秋です。



## 学校図書館へ 本を借りに来ませんか？

ご存じのとおり、天龍小学校の図書館にはたくさんの本があります。毎年村から十分な予算をいただき、新刊本や調査活動に必要な本をたくさん購入しています。子どもたちは、国語の授業や総合的な学習の時間等調査活動の時にはもちろん、朝、業間、昼休み等休み時間にも自由に出入りし、好きな本を読んだり借りたりしています。先生方も、子どもたちが気に入った本や子どもたちに読んでほしい本を図書館から借りて、朝読書の時間に読み聞かせをする等本を紹介する工夫をしています。

今、テレビやインターネットの普及による活字離れが不安視される一方で、読書がもたらす脳の発達への好影響や子どもの成長期における読み聞かせの重要性等、本に触れ本をとおして学ぶことのよさや効果もクローズアップされています。

そこで、天龍小学校では、豊富にある本校図書館の本を保護者の皆様や地域の方々にも手にとっていただきたいと考え、9月から保護者の皆様向けの「図書館開放日」を設定しています。図書館ですから、本を借りることはもちろんですが、

- ・書架を見て、最近の子どもたちがどんな本を読んでいるのかを知る。
- ・図書館で過ごしている子どもたちの様子を見る。
- ・図書館で過ごしている子どもたちと交流する。
- ・本を借りに来ている他の保護者の方々と交流する。...などなど

学校図書館が、本を介して人と人がつながる場所になれば...、と思っています。

もう既に、何名か保護者の方々が訪れてくださり、本を借りていってくださっています。

秋の夜長に、読書はいかがでしょうか。子どもたちのおすすめ本の掲示もありますし、小さいお子様への読み聞かせにちょうどよい本もそろっています。ぜひ一度、お立ち寄り下さい。

○解放日：毎週火曜日の10：00～12：00

(貸出業務は村図書館担当の大森さんが行ったださいます)

今まで感染予防があり、地域の方々を学校へお呼びすることができませんでしたが、今後は、このような機会を徐々につくっていき、お世話になっている皆様に、普段の児童の様子を見ていただけたら、と思っています。

お気軽に学校(32-2022)までお問い合わせください。

